

# 令和4年度 薩摩川内市立黒木小学校 学校経営ビジョン

【市の基本目標（教育振興基本計画）】ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる薩摩川内のひとづくり

## 【経営の方針】

- (1) 創立146年の歴史と伝統の尊重と創造的な継承を進めるとともに、一人一人の子供が躍動する校風の樹立に努める。
- (2) 人権尊重の精神に立ち、個性を尊重し、一人一人の子供が自己肯定感や自己有用感を実感できる学校づくりに努める。
- (3) 社会人としての常識やモラルを自覚し、教育に情熱を傾注するとともに、説明責任をしっかりと果たせる学校経営に努める。
- (4) 一人一人の子供の実態を的確に掴み、適切な支援の在り方を検討しながら能力を最大限に伸ばす教育を推進する。
- (5) 教育的環境が整備され、常に安心・安全な状態にある学校づくりに努める。
- (6) 小小連携、小中連携及び家庭や地域との連携を積極的に図りながら、地域とともにある学校づくりを推進する。
- (7) 「黒木魂」の三つの精神に基づいた子供の育成をめざす。

KUROKI SPIRIT

黒木魂

【教育目標】誠実で 心優しく 最後までやり遂げる 黒木の子供の育成

【校訓】 明るい子 考える子 がんばる子

### めざす子供の姿

- 明るく思いやりのある子
- 進んで学びよく考える子
- 最後までがんばりぬく子

### めざす学校の姿

- 明るく楽しく協力できる学校
- 学び合い高め合える学校
- 開かれた安心・安全な学校

### めざす教師の姿

- 誠実で明るい教師
- 謙虚で学び続ける教師
- 信頼・尊敬される教師

諸学力検査通過率70%、未解消いじめ・不登校0をめざします。

【学校経営の重点】4つの柱、11の視点、26の具体策

## 確かな学力

●主体的・意欲的に学ぶ確かな学力を身に付けた子供の育成【知】

- 1 授業改善の方向性についての共通理解・共通実践と学力検査結果分析の効果的活用
  - 学び合い、黒木ベーシック（授業づくりの基本）の共通理解・共通実践
  - 学力検査結果分析の工夫・改善（指導計画や継続して取り組む活動への反映）
- 2 意欲的に学習し、学力向上対策が効果的に機能する学級集団づくり
  - 児童が相互に聴き合える関係の構築（学習のしつけ、良好な人間関係づくり）
  - 安定した学校生活を送るための基盤の形成（基本的な生活習慣づくりと連動）
- 3 良問の意図的・効果的・累積的な活用による補充指導の充実
  - 過去問題、演習問題等の活用（チャレンジ指数20の継続）
  - 単元テスト100点チャレンジの徹底（振り返りの反省）
  - 授業と連動した家庭学習の習慣化（継続して取り組む活動と連動）

## 豊かな心

●明るく思いやりのある豊かな心を身に付けた子供の育成【徳】

- 4 生徒指導の充実
  - 対人意識、規範意識、自己肯定感、自己有用感の育成（一事徹底の取組、特別活動における一人一役、縦割り活動の充実）
  - 子供一人一人の状況の把握と共有、課題への迅速な対応（生徒指導事例研修及び教育相談の機能化、スピード感のある確かな初動）
- 5 学校生活のあらゆる場面・機会における道徳教育、人権同和教育等の充実
  - 道徳授業の工夫・改善（「考え議論する道徳科」の実践）
  - 児童支援加配のリーダーシップによる意図的・継続的な人権教育の推進（人権旬間・集会・通信等の工夫、「心の教育の日」の設定、人権に関する研修の充実）
- 6 体験活動や読書の充実
  - 効果的な体験活動の充実
  - 読書指導・環境の充実

## たくましい心と体

●健康・安全に生活する心身ともにたくましい子供の育成【体】

- 7 教科体育の充実と体力づくりの生活化・習慣化（「運動大好き黒木っ子」の育成）
  - 体育授業の工夫・改善（個に応じたきめ細かな指導、ICTの活用など）
  - 運動しやすい環境づくりと数値を効果的に活用した個に応じた体力づくりの継続（場・時間・道具・動機づけ、「チャレンジかごしま」の継続的な取組）
- 8 健康教育、安全教育の充実
  - 基本的な生活習慣の確立（継続的な見届けときめ細かな保護者との連携）
  - 予防や早期発見・早期治療に対する意識の向上（むし歯治療率100%）
  - 新型コロナウイルス感染症への対応
  - 給食指導と食育の充実
  - 職員危機管理意識向上と子供一人一人の危険予知能力・回避能力の育成

## 信頼される学校

●地域に開かれた信頼される学校づくり【信頼、連携、協働】

- 9 地域に開かれた信頼される学校づくりと安心・安全な教育環境づくり
  - 職員の指導力向上と服務規律の厳正確保
  - 学校によさや教育活動等の積極的な発信・広報（HP、安心メールの効果的活用、各種便りの工夫）
  - 事故や災害に対する実効性のある対応力の整備
- 10 特色ある教育活動の推進
  - 黒木小ならではの教育の充実（人権教育、郷土教育、国際理解教育、地域のヒト・コト・モノを生かした教育活動など）
- 11 学校応援団活動の拡充と地域学校協働活動への移行
  - 人材発掘と効果的な活用（応援団登録者拡大と活動のコーディネート）
  - 地域学校協働活動を推進する黒木独自の仕組みづくり・環境づくり（コミ協、PTA、スポ少等との協働による「黒木塾」の継続）

その他●小中一貫教育の充実（第6ステージ2年目）●GIGAスクール構想（1人1台端末）の具体化と積極的な推進

【キャッチフレーズ】黒木小だからこそできる一人一人を大切にする教育の推進  
～小規模校のよさや強みを生かした「16の星が輝く学校」づくり～

